

〔来賓あいさつ〕

名古屋大学副総長 伊藤 正之

皆さま、おはようございます。ご紹介をいただきました、名古屋大学の伊藤です。

名古屋大学は国際交流の柱として世界の主要な大学と学術交流協定を締結しておりまして、今般、本学がこの学術交流協定を締結している大学を中心と致しまして、一層の学術交流の実をあげるとともに、21世紀の大学の果たす役割を明らかにするために、「国際フォーラム」を実施することと致したわけでございます。

これに先立ちまして、大学院教育発達科学研究科、及び附属中等教育研究センターの主催によりまず国際教育フォーラムが開催されますことは極めて意義深いことであり、同研究科及び同中等教育研究センターの対応に対しまして心から敬意を表する次第でございます。

本来なら、本学を代表する松尾稔総長が本フォーラムの開会にあたり、本フォーラムが成功裏に推移するようご挨拶を申し上げるところでございますが、総長にはあいにく所用がございますので、代わって私のほうから一言御挨拶申し上げます。

今回の国際教育フォーラムでは、韓国、中国、タイ、カナダ、アメリカから第一線の研究者にお越しをいただき、これに日本を加えまして環太平洋地域各国の中等教育の現状と課題について様々な角度からご討議が行われると聞いております。わが国の中等教育をめぐる現状、これは広範で深刻な問題を内包しつつ、抜本的な改革の道を探りあぐねている現状にあるのではないかと考えております。今回、国際的な比較の中で、この中学・高校の学力とカリキュラムについてご討議をされますことは真に機宜を得たものでございまして、そこから生まれる成果が中等教育の改善に大きな示唆を与えるものになることを強く期待しております。

中等教育研究センターは、附属学校と一体になりまして名古屋大学を環太平洋地域における中等教育研究の拠点にするという強い決意をお持ちになって努力を重ねていることをよく承知しております。この国際教育フォーラムが、その拠点形成に大きく寄与することをお願いいたしまして、私の挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございました。